

# 答 申 書

～常呂自治区内事業の今後のあり方について～

平成26年11月  
常呂まちづくり協議会



平成26年11月21日

北見市長 櫻田真人様

常呂まちづくり協議会  
会長 山内光明

常呂自治区内事業の今後のあり方について（答申）

平成26年8月29日付けで諮問のありました常呂自治区内事業のあり方について、慎重に協議を重ねました結果、別紙のとおり答申いたします。



## ～答申にあたって～

常呂まちづくり協議会は、平成26年8月29日の第4回協議会において、市長から「常呂自治区内事業の今後のあり方について」諮問を受け、北見市の将来像『ひと・まち・自然きらめく オホーツク中核都市 ー安心な活力都市 北見ー』の実現に向け議論を重ねてまいりました。

当協議会では、北見市総合計画やこれまでの実施計画にかかる審議経過等を踏まえながら、今後の「常呂自治区におけるまちづくり」を進めるにあたり、懸案となっている各種事業について議論を行いました。

答申にあたりましては、北見市総合計画の基本構想に掲げられた6つの基本目標ごとに各種懸案事業についての審議を行い、協議会としての意見を総括的に取りまとめたほか、常呂自治区としての今後の事業のあり方や優先度についてまとめました。

議論にあたりましては、現下の厳しい財政状況を認識しながらも、常呂自治区の発展方向について率直な議論を積み重ね、取捨選択を実施した結果、19事業を最優先事業として掲げました。

市長におかれましては、第7次実施計画事業等における常呂自治区に関連する事業を選択するにあたり、このような議論経過をご理解いただくとともに、事業の重要性や緊急性などをご精査のうえ、早期に事業を推進していただきますようお願いいたします。

また、北見市の厳しい財政状況の中、限られた財源で効率的にまちづくりを実現していくため、行財政改革に積極的に取り組んでいただくとともに、本協議会で出された意見等については、今後策定される諸計画や行財政運営の中でご配慮いただくよう希望いたします。

# 常呂自治区内事業の今後のあり方について

～「第7次実施計画」に盛り込むべき事業～

## 基本目標1. 自然と共生する安全・安心のまちづくり

### 《最優先事業》

#### ◎豊浜地区避難路整備事業

豊浜地区は、常呂川河口部から網走側へ東西約2kmにおよぶ海岸線に面した沿岸低地で、平成23年4月に北海道が示したオホーツク沿岸津波浸水予想図の浸水被害の想定エリアとして示された地域であります。

豊浜地区は、急傾斜の高台に阻まれた場所にあることから避難ルートの確保が難しく、迅速な避難が困難な状況にあることから、河口側と網走側の2箇所の避難路整備が計画され、平成25年度には河口側の避難路が整備、供用開始されたところであります。

豊浜地区には、基幹産業である漁業の重要拠点施設となる常呂漁港があり、常呂漁業協同組合のほか各種水産加工場もあるため、地域住民のほかにも多くの人々が入り出りする地域となっております。

津波浸水被害等災害が発生の際には、豊浜地区に関わる多くの人々が、安全で迅速な避難ができるよう網走側避難路の早期整備が必要です。



平成25年度に整備された河口側の避難路

#### ◎防災行政無線整備事業

常呂自治区は、オホーツク海、サロマ湖に面し、常呂川の最下流域でもあることから、他の自治区に比べ、津波や洪水など災害の危険性の高い地域として認識されています。このため平成24年度には、防災情報を市民に正確かつスピーディーに伝達する対策として、同報系防災行政無線の更新整備が実施されました。

しかしながら、行政側の情報伝達の要となる移動系無線の老朽化が著しく、また、総務省においても通信システムの高度化と電波の有効利用の観点からデジタル化への移行が求められている状況にあることから、有事に備え、移動系無線の早期更新整備（デジタル化）を求めます。

なお、旧同報系無線については、老朽化した設備機器が多いことから、早期撤去が必要です。

### ◎常呂町一般廃棄物処理センター整備事業

常呂町一般廃棄物処理センターは、污水处理施設、破砕処理施設、ストックヤード、最終処分場の4つの施設で構成されており、常呂自治区全域から年間約1,700トンあまり排出される一般廃棄物を処理する大変重要な施設であります。この中でも破砕処理施設と污水处理施設は建設後33年を経過し、老朽化が著しく、特に破砕処理施設では搬入に係る供給コンベアの傷みが激しく、また、污水处理施設では攪拌減速機のほか、上屋の屋根の劣化が激しく雨漏りが発生する状況にあります。施設機能の低下・トラブルを避け、適切な運営管理を図るためにも各施設の計画的な修繕が必要です。

## 〈優先事業〉

- ごみ収集運搬委託（車両更新）事業
- 常呂町墓園区画整備事業

常呂自治区のごみを収集・運搬する塵芥収集車及び粗大ごみ収集車は老朽化に伴うトラブルが多発しており、導入後15年以上が経過しているため修理のための部品の調達も難しい状況にあります。

車両の安全性確保と当該業務の運営に支障を来たさぬよう、計画的な車両の更新整備が必要と考えます。

常呂町墓園では、823の墓地区画を用意し、安定した供給に努めてきましたが、区画残数が少なくなっており、安定供給に支障を来たさぬよう、新たな区画造成が必要と考えます。

## 基本目標2. 豊かな心と文化を育てるまちづくり

### 《最優先事業》

#### ◎常呂町多目的研修センター施設整備事業

常呂町多目的研修センターは、文化祭や成人式、オホーツク大学などの社会教育活動のほか、各種イベントなどで広く利用される施設ですが、暖房用ボイラーにおいて経年劣化に伴うトラブルを抱えており、施設の運営に支障を来すことが懸念される状況にあることから、暖房用ボイラーの早期更新整備が必要です。

#### ◎常呂町スポーツセンター整備事業

常呂町スポーツセンターは、自治区内のスポーツ拠点施設として、また、市民の健康維持・増進を図る施設として自治区住民の皆さんに利用されていますが、サロマ湖100kmウルトラマラソンのゴール会場やオホーツクサイクリングの1日目のゴール会場、または、宿泊施設としても重要な役割を果たしております。多くのランナー、サイクリストはゴール後にシャワーの提供を求めますが、常呂町スポーツセンターのシャワー室では、ボイラーの温水圧不足により適温によるシャワーの提供ができない状況にあります。

全国各地から訪れるたくさんのランナーやサイクリストが早くイベントに参加できるよう、ボイラーシステムを改善する必要があります。

また、当該施設は、開館後38年を経過した施設であることから、耐震診断等施設の現況について調査するとともに、故障箇所は適宜改修するなど、公共施設として適切な対応が必要です。

#### ◎常呂町カーリングホール備品整備事業

平成25年11月にオープンした「アドヴィックス常呂カーリングホール」は、地元利用者をはじめ、全道各地のカーリングチームやカーリング愛好者など大変多くの方々に利用されており、そのほか視察や見学などでも多くの方々が訪れています。



当該施設には昼食などに利用する休憩スペースとして2階に交流サロンを設置していますが、6卓のテーブルと24脚のイスしかないため利用者の中には観覧席をテーブル代わりに使用する方も多く、施設の管理・衛生面において好ましい状況ではないことから、テーブル・イスを増設し、利用者の利便性の向上を図る必要があります。

また、カーリングホールのアイスメイクに重要な製氷機が更新時期を迎えており、適切な競技環境の維持・確保のために計画的な更新整備が必要です。

## ◎カーリング振興事業

本年度より「アドヴィックス常呂カーリングホール」で開催されている「アドヴィックスカップ・カーリング大会」は、オリンピック出場チームや日本代表チームなど強豪が集まり、地元カーリング競技のレベルアップにつながる大会となっています。



平成 25 年にオープンした「アドヴィックス常呂カーリングホール」

この大会の開催は、カーリングの振興はもとより、地域経済の活性化にも大きく寄与しており、今後も魅力ある大会として継続させていくためにも積極的な支援が必要です。

## ◎史跡常呂遺跡整備事業

史跡常呂遺跡整備事業は、オホーツク文化・アイヌ文化期を主体とする常呂川河口遺跡にかかる事業であり、「ところ遺跡の森」とあわせて北海道固有の連続した各文化期の建物などの復元を行うことにより、地域の歴史や文化、自然教育の学習拠点としての整備を目指すもので、引き続き、史跡整備専門委員会をはじめ、国や北海道などの関係機関に対し、積極的に働き掛けを行い、文化財の保護、啓発に努めていく必要があります。

また、「ところ遺跡の森」の「復元竪穴住居」の老朽化が著しいことから、再建に向けた計画的な整備が必要です。

## ◎常呂遺跡世界遺産登録推進事業

常呂遺跡世界遺産登録推進事業は、常呂遺跡の学術的価値やその重要性を広く世界に発信し、多くの人々に理解を深めていただくとともに、地域の活性化にもつながる大変重要な事業であります。

世界遺産への登録にあたっては、地域住民の関わりと多様な取り組みがその評価を左右する大きな要因になることから、文化財についての理解を深める取り組みを展開するなど、より一層の推進を図るとともに、関係市町村と連携し、オホーツク圏域全体で盛り上げていくことが必要です。

## 〈優先事業〉

- 川沿小学校旧校舎解体事業
- 常呂町スポーツセンタートレーニング機器整備事業
- 常呂町野球場整備事業
- 常呂町健康温水プール整備事業
- 物品収納プレハブ購入事業
- 旧常呂町カーリングホール整備事業

川沿小学校の旧校舎は、昭和 35 年に建設された施設で、現川沿小学校校舎が整備されてからは倉庫等に使用されてきましたが、経年劣化による老朽化が激しく、景観や防犯上の懸念もあることから早期の解体撤去が必要と考えます。

常呂町スポーツセンターのトレーニングルームは、「アドヴィックス常呂カーリングホール」を合宿利用する選手たちにより利用が高まっており、利用者のニーズに対応したトレーニング機器の計画的な更新整備が必要と考えます。

常呂町野球場、常呂町健康温水プールは、市民の健康維持・増進を図るための施設として大事な施設であります。それぞれ塩害や経年劣化による老朽化が著しく、施設運営等において支障を来す状況もあることから、計画的に維持補修を行うなど公共施設として適切な対応が求められます。特に常呂町健康温水プールのウッドデッキの撤去と避難通路の改修は早期対応が求められます。

また、旧カーリングホールは、適切な施設管理を図るため、地下タンクの閉鎖及び附帯設備の撤去が必要な状況にあります。

物品収納プレハブの購入については、各種体育用備品やイベント用物品等の保管場所が不足していることから、新たな保管場所としてプレハブの購入等対応が必要と考えます。

## 基本目標3. 支えあい、一人ひとりを大切にするまちづくり

### 《最優先事業》

#### ◎老人いこいの家整備事業

老人いこいの家は、社会福祉協議会やシルバー人材センターの事務所が置かれ、各種福祉対策やボランティア活動など常呂自治区における福祉活動の拠点施設として利用されている施設であります。建築から20年を経過し、塩害及び老朽化により屋根や外壁が破損しており、安全の確保と建物の長寿命化を図るため計画的な改修整備が必要です。

## 基本目標4. 活力を生み出す産業振興のまちづくり

### 《最優先事業》

#### ◎常呂地区排水機場施設設備整備事業

常呂自治区内には、湛水被害防止のための施設として4つの排水機場を設置していますが、それぞれ年数が経過しており、ポンプ等設備機器の経年劣化が懸念される状況にあります。

当該施設の機能低下は農業生産において多大な影響を与えることから、各施設の安定した稼働確保ため設備機器の計画的な更新整備が必要です。

#### ◎ワッカ原生花園周辺施設整備事業

ワッカ原生花園のビジター施設として設置されているサロマ湖ワッカネイチャーセンターでは、正面中央の支柱内部が経年劣化により一部空洞化しており、適切な措置が必要となっております。

また、隣接する観光馬車小屋では外壁・軒天の色あせや破風の破損が



支柱の改修が急がれるサロマ湖ワッカネイチャーセンター

ひどく景観を損ねており、駐車場では各所で歪みが発生しているなど、観光施設として適切な対応が必要です。

ワッカ原生花園は北海道遺産にも選定され、多くの観光客が訪れる道東観光における有数の景勝地ですが、オホーツク海とサロマ湖に挟まれた自然環境の厳しい地域であることから、当該ワッカ地区にある各種施設の老朽化が著しく、観光施設として適切な対応を図るとともに、集客に向けた積極的な取り組みが必要です。

## ◎常呂森林公園整備事業

常呂森林公園は、市民の憩いの場として昭和55年度より各種施設が整備され、多くの市民に利用されております。

特に平成7年度にパークゴルフ場が整備されてからは、道内各地から愛好者が集まり、大勢の方に利用される施設となっておりますが、当該公園は下水道管理区域外のため、トイレにおいては簡易水洗または汲み取り式となっており、生活雑排水は浸透枮により処理されています。公共施設として環境衛生に配慮した適切な対応が必要であり、特にパークゴルフ場のセンターハウスやバーベキューハウスなど利用の多い施設については、浄化槽への改修整備が必要です。

また、昭和57年のオープン当初より設置されているアスレチック遊具、林間歩道連絡橋、四阿については、経年劣化により危険な状況にあることから、早期の解体撤去が必要です。

## ◎ところふるさとまつり補助金（合併10周年記念事業）

常呂自治区では、例年お盆に帰省される方々や市民・観光客にところの夏の楽しい思い出を提供するため「ところふるさとまつり」を開催していますが、来年度合併10周年を迎えるにあたり、当該イベントをパワーアップし、市民の一体感と北見市・常呂の魅力を発信する事業を計画していることから、北見市として積極的な支援・協力が必要です。

## 〈優先事業〉

- 基幹水利施設ストックマネジメント事業 常呂地区
- 食料供給基盤強化特別対策事業
- かんがい排水事業（明渠排水） 常呂地区
- 畑地帯総合整備（担い手支援） 常呂岐阜地区
- 畑地帯総合整備（担い手支援） 常呂福山地区
- 一般農道整備事業（農道保全） 常呂富丘15号
- 常呂地区幹線排水路維持管理事業
- 常呂地区明渠排水路取付横断管応急対策事業
- 多面的機能支払交付金事業
- 手工芸の館整備事業

基幹水利施設ストックマネジメント事業、かんがい排水事業、畑地帯総合整備事業、常呂地区幹線排水路維持管理事業、常呂地区明渠排水路取付横断管応急対策事業については、常呂自治区内の排水路及び横断管の整備・補修を実施する事業であり、農作業の安全確保や排水機能の改善、湛水被害の解消を図るため、継続的な推進が必要と考えます。

食料供給基盤強化特別対策事業は、総合的な農業生産基盤（区画整理・暗渠排水・客土・土層改良）の整備を実施することで、排水不良等を解消し、農作業の効率化や畑作物の生産性の向上、品質の安定化など農業経営の安定化を図るうえで極めて重要な事業であり、計画的な事業の実施が必要と考えます。

一般農道整備事業（農道保全）は、富丘地区、豊川地区の主要道路である市道15号の改修整備で、大型車両等の通行が多い道路であるため路肩の変形や舗装の損傷が著しく、道路の安全性向上に向けた早期対応が求められています。

多面的機能支払交付金事業は、地域の活動組織が取り組む農地や用水路等の維持管理や環境保全に対し支援するものであり、継続的な支援・推進が必要と考えます。

手工芸の館は、地域の文化産業である「流水焼」の普及や体験型観光施設としての役割を担っておりますが、建築後31年が経過し、経年劣化により電気窯及び屋根・外壁の傷みが顕著な状況にあることから、早期改修が必要です。

## 基本目標5. 住む喜びを実感できる生活優先のまちづくり

### 《最優先事業》

#### ◎市営住宅建替事業（常呂）

常呂自治区内には、62棟300戸の市営住宅が建設されていますが、そのうちの53棟214戸が築後25年を経過した老朽化の著しい住宅となっていることから、今後の需要動向や利用者のニーズを考慮するとともに、北見市住宅マスタープラン及び北見市公営住宅等長寿命化計画に基づき、適切に整備・改修されることが求められます。

今回計画されている末広団地は、平成19年12月から閉鎖されている旧国民健康保険常呂病院跡地に弁天・東浜団地を集約するもので、市街地の町並み整備と未利用地の有効活用、公営住宅利用者の利便性向上など、常呂自治区のまちづくりにとって大変重要な事業となるものであり、当該事業の計画的な推進が必要です。

#### ◎朝日橋撤去事業（常呂）

朝日橋は、豊浜・弁天方面と市街地を結ぶ主要ルートとして昭和39年に架設された橋梁ですが、現在は老朽化により使用できない施設となっていることから、地権者である国から撤去を求められており、河川増水時の二次的災害の懸念や景観等周辺環境の改善を図るためにも、早期に対応する必要があります。

#### ◎東浜地区河川整備事業（常呂）

当該事業は、東浜地区の高台をはじめ、国道、道道などの周辺の道路排水が入り込む大きな沢地の改修整備ですが、長期にわたる排水において、大きな深掘れと一部法面の崩落が確認される状況にあります。

背後地には住宅や道路があり、侵食の拡大も懸念される状況にあることから、当該事業の早期実施により周辺住民の安心・安全を図る必要があります。

## ◎交通ターミナル整備事業（常呂自治区）

交通ターミナルは、国鉄湧網線廃止後の昭和63年に旧常呂駅跡地に建設され常呂自治区の公共交通の拠点施設として利用されている施設ですが、海岸隣接地という厳しい自然環境の場所にあることから施設全体の老朽化が著しい状況にあります。

平成26年度に実施された調査において、早期の抜本的対策の必要性が示されたところであり、安心・安全な公共施設として早期の対応が必要です。

なお、施設改築等にあつては、利用者の利便性を考慮した市民にとって利用しやすい施設の整備が望まれます。



## 〈優先事業〉

- 栄浦地区道路整備事業（常呂）
- 常呂町北進町3号線道路整備事業（常呂）
- 常呂町南町1号線道路整備事業（常呂）
- 常呂町3号線道路整備事業（常呂）
- オーバーレイ舗装整備事業（常呂）
- 普通財産建物解体事業（常呂自治区）
- 旧常呂監督員詰所解体事業
- 市営住宅改善事業（常呂）
- 常呂地区特定環境保全公共下水道事業（污水管渠）
- 常呂地区特定環境保全公共下水道事業（雨水管渠）
- 常呂終末処理場整備事業
- 栄浦終末処理場漁業集落環境整備排水事業
- 送配水施設整備事業（簡易水道）
- 社会資本整備総合交付金（建設機械更新事業：常呂）

各道路整備事業やオーバーレイ舗装整備事業は、道路管理の効率化や市民生活に直接かかわる生活道路の整備、安全な道路環境を維持するための事業であり、計画的な整備・推進が必要と考えます。

普通財産建物解体事業、旧常呂監督員詰所解体事業は、市が財産として所有する老朽化住宅の解体撤去事業であり、地域の安全性や周辺の衛生環境を考慮し、早期に対応されることが望まれます。

市営住宅改善事業は、市営住宅の長寿命化及び居住性向上を図るための事業であり、北見市住宅マスタープラン及び北見市公営住宅等長寿命化計画に基づき整備されるものですが、改築にあたっては、災害に強いまちづくりの観点から市営住宅のあり方について、検討する必要があると考えます。

また、市営住宅の利活用については、各自治区における利用状況や地域のニーズを考慮し、有効的に活用できるよう検討されることが望まれます。

特定環境公共下水道事業、常呂・栄浦終末処理場整備事業、送配水施設整備事業は、安全な水道水の安定供給や排水処理施設の整備による生活環境の改善、浸水被害の防止など極めて重要な事業であり、中長期的な視点に立った計画的な事業の推進が必要と考えます。

社会資本整備総合交付金事業（建設機械更新事業）については、冬季除雪作業のための車両の更新であり、安全な道路環境を維持するために計画的な整備更新が必要と考えます。

## 基本目標6. 市民とつくる信頼と協働のまちづくり

### 《最優先事業》

#### ◎住民センター改修事業（常呂自治区）

常呂自治区内には5つの住民センターがありますが、各施設とも設置から25年以上を経過し、経年劣化による老朽化が著しい状況にあります。

各施設は、町内会活動や老人クラブの活動拠点として利用されており、また、災害発生時には避難所になる施設であることから、トイレの水洗化等、施設機能の維持・向上に向けて計画的な整備が必要です。



## 〈優先事業〉

- 姉妹友好都市交流推進事業（常呂自治区）
- 常呂まちづくりパワー支援事業

姉妹友好都市交流推進事業では、常呂高等学校の生徒を姉妹都市であるカナダ・バーヘッド町へ派遣しており、常呂高等学校の特色ある教育活動の一つとなっております。

バーヘッド町からの訪問団の受け入れと合わせ、このような取り組みが国際意識の向上と国際感覚に富んだ人材の育成につながっており、当該事業の継続的な取り組みが求められます。

まちづくりパワー支援事業は、自治区住民が自ら考え、自ら実践するまちづくり活動を支援する事業で、地域住民の市民協働、まちづくりへの参加を進めていくうえで、大変効果の高い事業であり、引き続き、推進されることが望まれます。

## 常呂自治区懸案事業一覧

### 1. 自然と共生する安全・安心のまちづくり

#### 《防災の強化》

1	防災行政無線整備事業	解体撤去（常呂旧同報系）、調査研究・基本設計（移動系）、実施設計（移動系）
2	豊浜地区避難路整備事業	避難路整備用地購入、避難路整備工事

#### 《地球環境保全と循環型社会の構築》

3	常呂町一般廃棄物処理センター整備事業	供給コンベア及び減速機修繕（破碎・汚水処理施設）、屋根葺き替え修繕（汚水処理施設）
4	ごみ収集運搬委託（車両更新）事業	塵芥収集車更新、粗大ごみ収集車更新

#### 《快適な生活空間の整備》

5	常呂町墓園區画整備事業	墓園區画造成工事
---	-------------	----------

### 2. 豊かな心と文化を育てるまちづくり

#### 《生涯学習の充実》

6	常呂町多目的研修センター施設整備事業	暖房用温水ボイラー更新、駐車場等用地の購入
---	--------------------	-----------------------

#### 《小・中学校教育の充実》

7	川沿小学校旧校舎解体事業	旧校舎解体
---	--------------	-------

《生涯スポーツ活動の振興》

8	常呂町スポーツセンター整備事業	屋内・屋外シャワー室ボイラー改修、屋外シャワー室ドア修繕、アリーナ器具庫扉修繕、耐震診断・現況調査
9	常呂町スポーツセンタートレーニング機器整備事業	トレーニング機器更新
10	常呂町野球場整備事業	バックネット改修、スコアボード・操作盤・物品庫修繕、物品庫修繕
11	常呂町健康温水プール整備事業	ボイラー更新・逆洗浄弁他機械設備修繕、ウッドデッキ撤去・避難通路改修、エレベーター改修、機械設備修繕
12	物品収納プレハブ購入事業	プレハブ購入
13	常呂町カーリングホール備品整備事業	テーブル・椅子購入、製氷機購入
14	旧常呂町カーリングホール整備事業	地下タンク閉鎖・灯油タンク設置・附帯設備の撤去
15	カーリング振興事業	大会実行委員会への補助

《文化財の保護・継承》

16	史跡常呂遺跡整備事業	史跡整備専門委員会議、遺跡の森復元竪穴住居建替実施設計・整備、トコロシャシ跡遺跡群整備実施設計
17	常呂遺跡世界遺産登録推進事業	発掘調査、有識者検討会議、国重要文化財指定に向けた出土遺物の整理・調査、常呂遺跡出土資料の新規展示

3. 支えあい、一人ひとりを大切にすまちづくり

《地域福祉活動の促進》

18	老人いこいの家整備事業	玄関車寄せ屋根葺き替え、照明器具交換、屋根・破風塗装、外壁サイディング交換・塗装、コーキング修繕
----	-------------	--

#### 4. 活力を生み出す産業振興のまちづくり

##### 《地域特性を活かした農業の振興》

19	基幹水利施設ストックマネジメント事業 常呂地区	明渠排水路補修整備、附帯工
20	食料供給基盤強化特別対策事業	区画整理、暗渠排水、客土、土層改良
21	かんがい排水事業（明渠排水） 常呂地区	排水路整備
22	畑地帯総合整備（担い手支援） 常呂岐阜地区	排水路整備（附帯工）
23	畑地帯総合整備（担い手支援） 常呂福山地区	横断管改修
24	一般農道整備事業（農道保全） 常呂富丘15号	農道改良工事
25	常呂地区排水機場施設設備整備事業	第一幹線・福山・姉問の各排水機場の設備機器の修繕等
26	常呂地区幹線排水路維持管理事業	イワケシ・11号の各排水路の土砂上げ等
27	常呂地区明渠排水路取付横断管応急対策事業	明渠排水路取付道路横断管の応急整備
28	多面的機能支払交付金事業	営農環境保全活動団体助成

##### 《活気ある商業活動の促進》

29	手工芸の館整備事業	電気窯更新、手工芸の館改修工事（屋根・外壁・スロープ改修）
----	-----------	-------------------------------

##### 《新たな観光資源の活用》

30	ワッカ原生花園周辺施設整備事業	ネイチャーセンター支柱改修、観光馬車小屋改修、駐車場改修
31	常呂森林公園整備事業	浄化槽設置（バーベキューハウス・パークゴルフ場センターハウス）、パークゴルフ場センターハウス改修、アスレチックス・東屋・林間歩道連絡橋撤去
32	ところふるさとまつり補助金（合併10周年記念事業）	合併10周年記念事業

## 5. 住む喜びを実感できる生活優先のまちづくり

### 《道路網の整備》

33	栄浦地区道路整備事業（常呂）	道路改良工事
34	常呂町北進町3号線道路整備事業（常呂）	測量設計、道路改良・舗装工事
35	常呂町南町1号線道路整備事業（常呂）	測量設計、道路改良・舗装工事
36	常呂町3号線道路整備事業（常呂）	測量設計
37	朝日橋撤去事業（常呂）	橋梁撤去工事
38	オーバーレイ舗装整備事業（常呂）	岐阜富丘線、川口佐呂間線、6号線
39	東浜地区河川整備事業（常呂）	調査設計、復旧工事

### 《公共交通の確保》

40	交通ターミナル整備事業（常呂自治区）	交通ターミナル解体工事・建設工事
----	--------------------	------------------

### 《良好な住宅・住環境の創出》

41	普通財産建物解体事業（常呂自治区）	普通財産建物（住宅）解体撤去
42	旧常呂監督員詰所解体事業	監督員詰所解体
43	市営住宅改善事業（常呂）	市営住宅南町団地改善工事
44	市営住宅建替事業（常呂）	旧国保病院解体工事、用地取得、末広団地建設工事（地盤調査・基本設計・実施設計・造成設計・建設工事・造成工事・外構工事）

《水道水の安定供給と下水道の整備》

45	常呂地区特定環境保全公共下水道事業（污水管渠）	公共汚水柵設置
46	常呂地区特定環境保全公共下水道事業（雨水管渠）	下水道雨水管整備
47	常呂終末処理場整備事業	水処理設備更新、監視制御設備更新、管理棟・水処理棟覆蓋更新、長寿命化計画策定、原水槽ポンプ設備更新、管理棟・水処理棟防水
48	栄浦終末処理場漁業集落環境整備排水事業	非常用発電機整備及びマンホールポンプ設備更新
49	送配水施設整備事業（簡易水道）	配水管布設替実施設計、配水管布設替工事

《除排雪体制の強化》

50	社会資本整備総合交付金（建設機械更新事業：常呂）	ショベル・除雪グレーダー・小型ロータリ更新
----	--------------------------	-----------------------

## 6. 市民とつくる信頼と協働のまちづくり

《国際交流・地域間交流の促進》

51	姉妹友好都市交流推進事業（常呂自治区）	常呂高校振興協議会補助金、カナダ・バーヘッド町受入事業、カナダ・バーヘッド町提携 25 周年記念事業
----	---------------------	--

《住民自治の推進》

52	常呂まちづくりパワー支援事業	自治区独自のまちづくり活動への支援（補助金）
53	住民センター改修事業（常呂自治区）	富丘地区高齢者コミュニティセンター改修、日吉会館改修、福山地区高齢者コミュニティセンター改修

## 【常呂まちづくり協議会における協議経過】

協議回数	開催日	場所	内 容
1	8月29日(金) 午後6時00分	常 呂 総合支所	諮 問 常呂自治区内事業の今後のあり方について
2	10月29日(水) 午後6時00分	常 呂 総合支所	議 題 常呂自治区内事業の今後のあり方について
3	10月31日(金) 午後6時00分	常 呂 総合支所	議 題 常呂自治区内事業の今後のあり方について
4	11月13日(木) 午後6時00分	常 呂 総合支所	議 題 常呂自治区内事業の今後のあり方について

【常呂まちづくり協議会委員】

【委嘱期間：H26.6.14～H28.6.13】

	氏 名
委 員	嵐 ふみ江
委 員	石 山 茂 実
委 員	江 田 哲
委 員	鈴 木 倫 子
○副 会 長	田 淵 正 彰
委 員	敦 賀 信 人
委 員	寺 町 敬 子
委 員	野 辺 心
委 員	広 瀬 由 里 子
委 員	安 田 圭 太 郎
委 員	山 内 英 之
◎会 長	山 内 光 明
委 員	山 本 穎 治
委 員	横 山 義 雄
委 員	吉 田 富 美 江

50音順